



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年4月1日 ~ 2023年9月30日

2023年11月7日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

増収増益決算 上半期として過去最高額

医療施設・介護施設における業務効率化推進に伴う需要増に対応した製品・サービス提案が好調に推移。

健康事業における消費行動の変化・猛暑による来店数伸び悩み等の影響を乗り越え、引き続き過去最高売上を更新。

営業利益は増収効果や粗利率改善効果が費用増を上回り増益。

年間計画は据え置き

4期連続で過去最高の売上・利益額を更新へ

医療・介護事業は働き方改革など業務効率化需要増を取り込む。

健康事業は新CM投入等マーケティング強化を推進し売上増を図る。

ERP費用ピークを迎えるも増収効果により利益も過去最高額へ。

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 事業別概要
3. 2024年3月期 通期見通し
4. トピックス
5. APPENDIX（中期経営計画）

1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

1-1. 決算概要

増収増益決算

上半期として売上・利益とも過去最高を更新。

(単位：百万円)

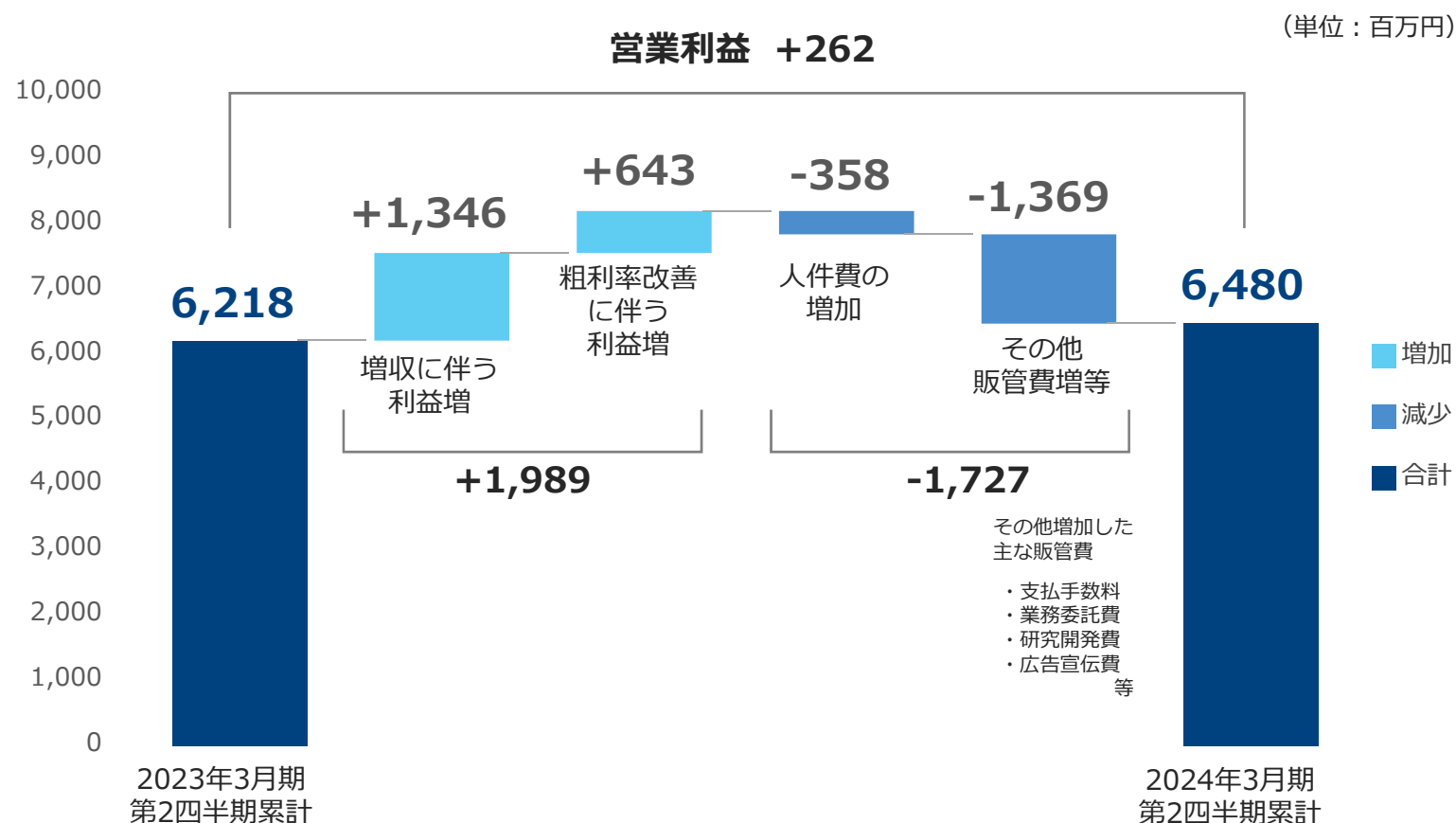
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期			
	実績	予算	実績	予算比	前期比
売上高	46,850	48,700	49,720	+ 2.1%	+6.1%
営業利益 (営業利益率)	6,218 (13.3%)	5,600 (11.5%)	6,480 (13.0%)	+ 15.7%	+4.2%
経常利益 (経常利益率)	7,601 (16.2%)	5,850 (12.0%)	7,819 (15.7%)	+ 33.7%	+2.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	5,044 (10.8%)	4,000 (8.2%)	5,298 (10.7%)	+ 32.5%	+5.0%

1-2. 営業利益増減要因

増収効果等により増益

粗利率は価格改定効果等により約1.3ポイント改善。

販管費増のうちERPリニューアルに伴うシステム関連費用として約5億円。



1-3. 財務の状況

純資産55億51百万円増

(単位：百万円)

	2023年3月末	2024年9月末	増減額	前期末比
流動資産	97,135	94,292	-2,842	-2.9%
固定資産	75,158	81,052	+5,894	+7.8%
資産合計	172,293	175,345	+3,051	+1.8%
流動負債	26,300	23,311	-2,988	-11.4%
固定負債	17,296	17,784	+488	+2.8%
負債合計	43,596	41,096	-2,500	-5.7%
純資産	128,697	134,248	+5,551	+4.3%
負債・純資産合計	172,293	175,345	+3,051	+1.8%

2. 事業別概要

2-1. 医療事業実績

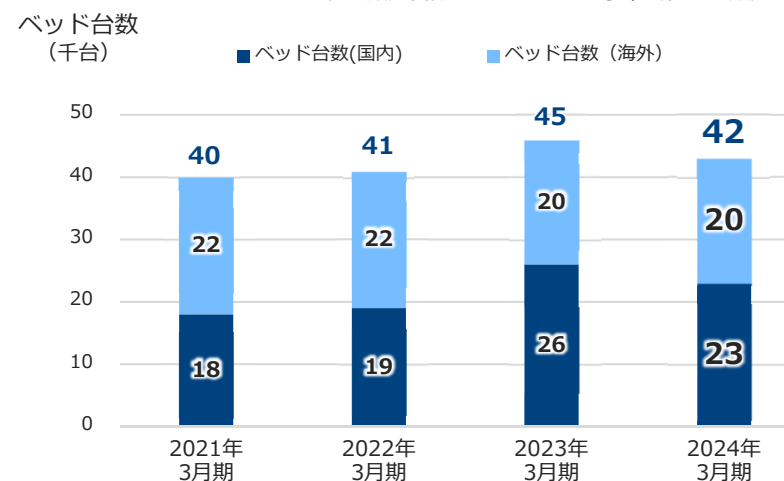
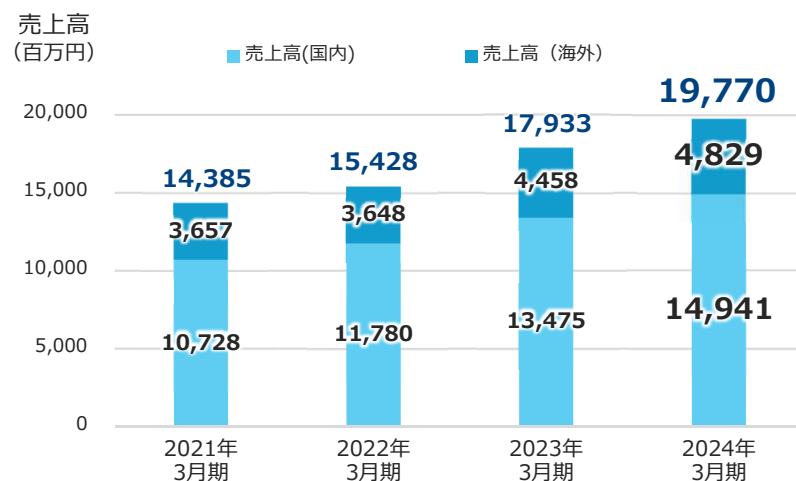
前期比プラス10%

国内医療施設における
医師の働き方改革推進
に伴う業務の効率化・
デジタル化需要が拡大。
リカーリング売上高は
約20%増。

(単位：百万円)	2021.3 2Q	2022.3 2Q	2023.3 2Q	2024.3/2Q	
				実績	前期比
売上高	14,385	15,428	17,933	19,770	+10%
国内	10,728	11,780	13,475	14,941	+11%
海外	3,657	3,648	4,458	4,829	+8%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	40	41	45	42	-7%
国内	18	19	26	23	-12%
海外	22	22	20	20	-1%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。

2-2. 介護事業実績

施設向け・在宅向け とも引き続き堅調

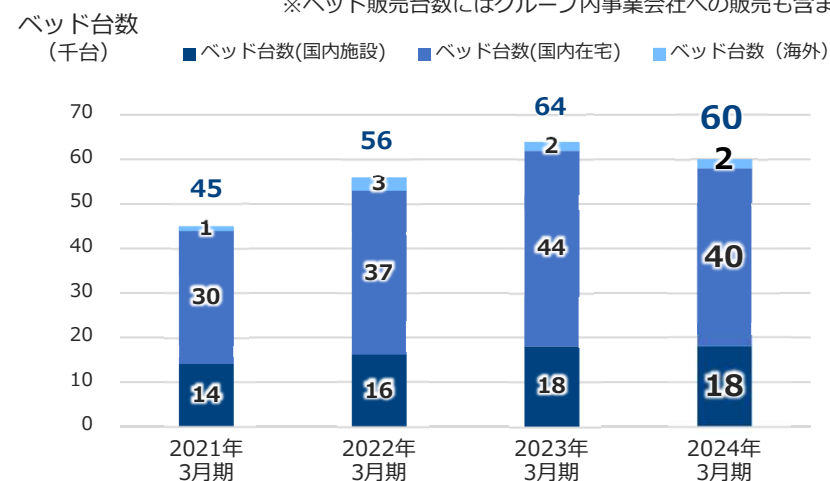
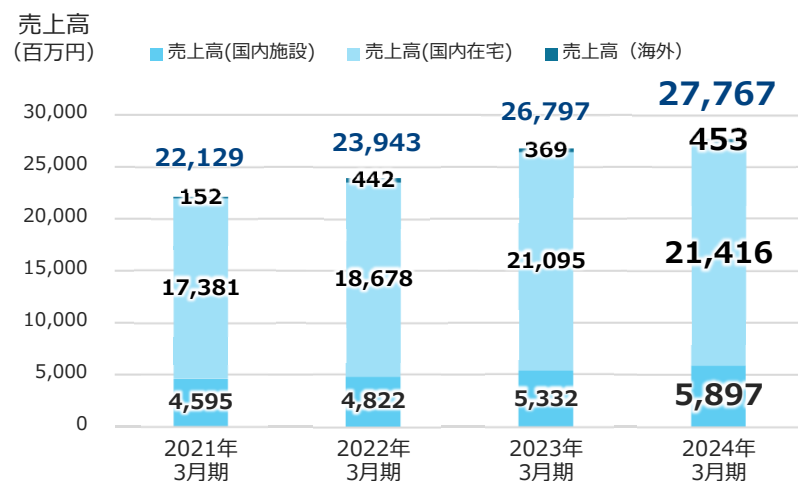
「眠りSCAN」は前期比
26%増の1.36万台。
在宅向けはベッド販売の
一服やコロナ施設向け
レンタルの返却あるも
製品拡販等により増収。
レンタル卸は約3%増。

(単位：百万円)	2021.3 2Q	2022.3 2Q	2023.3 2Q	2024.3/2Q	
				実績	前期比
売上高	22,129	23,943	26,797	27,767	+4%
国内介護施設	4,595	4,822	5,332	5,897	+11%
国内在宅介護	17,381	18,678	21,095	21,416	+2%
海外	152	442	369	453	+23%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	45	56	64	60	-6%
国内介護施設	14	16	18	18	+2%
国内在宅介護	30	37	44	40	-11%
海外	1	3	2	2	+20%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

2-3. 健康事業実績

売上は微増に留まる

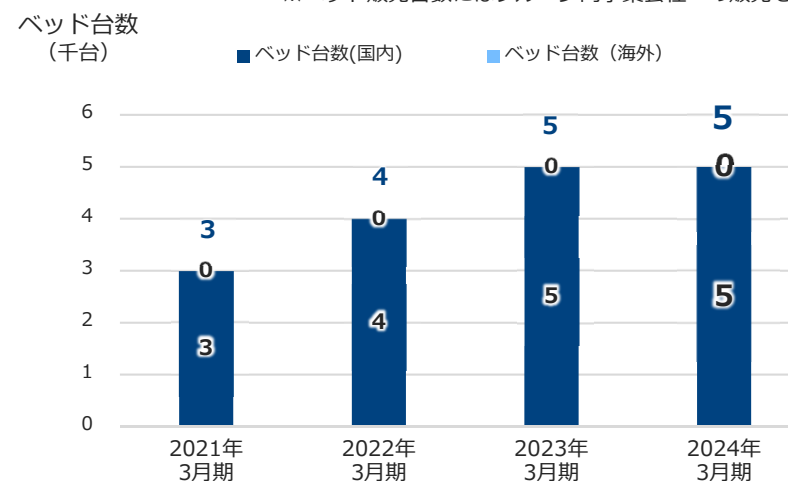
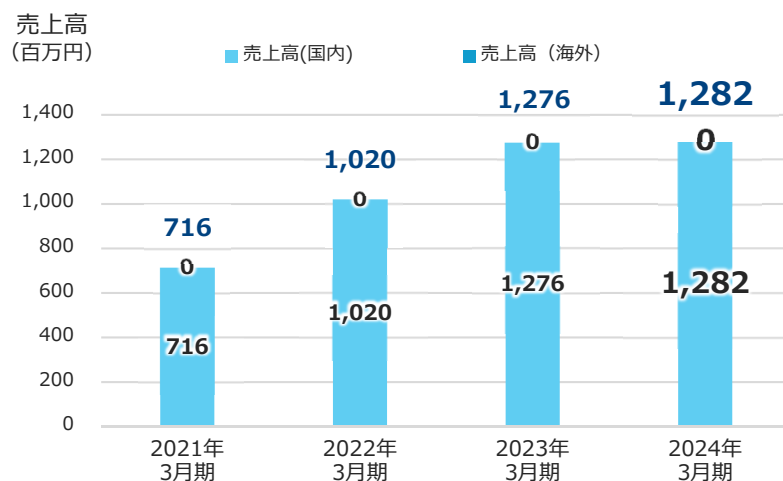
コロナ5類移行後の消費マインドの変化や猛暑影響により来店客数が伸び悩む。

10月に新CMを投入し4月発売の新「INTIME 1000」等の拡販を強化。

(単位：百万円)	2021.3 2Q	2022.3 2Q	2023.3 2Q	2024.3/2Q	
				実績	前期比
売上高	716	1,020	1,276	1,282	+0%
国内	716	1,020	1,276	1,282	+0%
海外	0	0	0	0	0%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	3	4	5	5	-8%
国内	3	4	5	5	-8%
海外	0	0	0	0	0%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

2-4. 事業別実績一覧

国内リカーリング売上高はトータル7%増の167億円へ増加

売上高

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	第2四半期実績	第2四半期実績	前期比
医療事業	17,933	19,770	+10.2%
介護事業	26,797	27,767	+3.6%
健康事業	1,276	1,282	+0.4%
その他	842	900	+6.9%
合計	46,850	49,720	+6.1%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	第2四半期実績	第2四半期実績	前期比
	45	42	-7%
	64	60	-6%
	5	5	-8%
	-	-	-
	115	107	-7%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

※参考情報（国内リカーリング売上高）

(億円未満切り捨て)

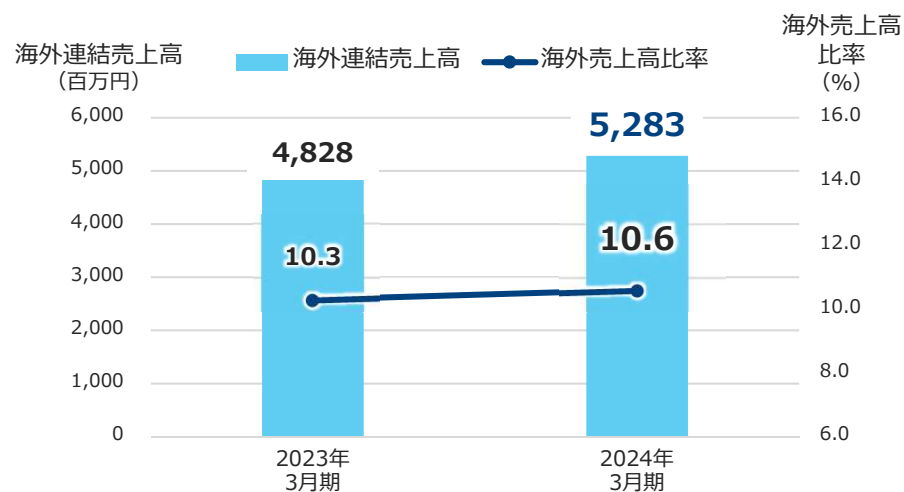
医療事業	29億円	36億円	+21%
介護事業	127億円	131億円	+3%
合計	157億円	167億円	+7%

2-5. 海外地域別売上高

前期比プラス9%

中国は前期ロックダウンの反動増。インドネシアは下期偏重。

(単位：百万円)	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前期比
海外連結売上高	4,828	5,283	+9%
海外売上高比率	10.3%	10.6%	—



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前期比
アジア	4,241	4,743	+12%
インドネシア	1,552	1,134	-27%
中国	1,499	2,024	+35%
その他アジア	1,188	1,584	+33%
中東	144	21	-85%
中南米	214	446	+108%
その他	228	72	-68%

3. 2024年3月期 通期見通し

3-1. 通期見通し

増収増益で4期連続の過去最高を更新へ

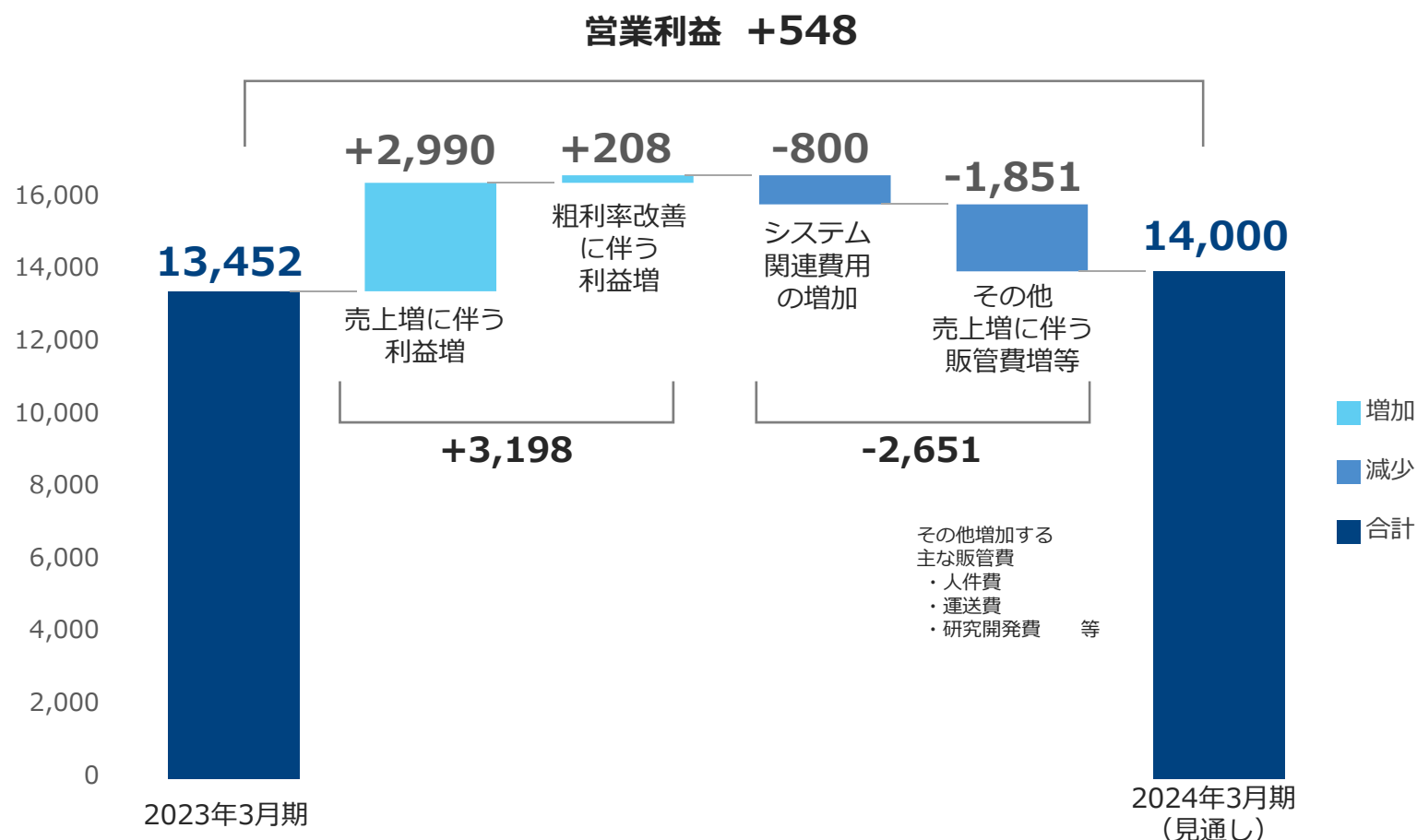
(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期			
	実績	上期実績	下期見込み	通期見通し	前期比
売上高	99,009	49,720	55,280	105,000	+6.1%
営業利益 (営業利益率)	13,452 (13.6%)	6,480 (13.0%)	7,520 (13.6%)	14,000 (13.3%)	+4.1%
経常利益 (経常利益率)	14,139 (14.3%)	7,819 (12.0%)	6,681 (12.1%)	14,500 (13.8%)	+2.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,215 (9.3%)	5,298 (10.7%)	4,502 (8.1%)	9,800 (9.3%)	+6.3%

3-2. 営業利益増減要因

増収効果等によりシステム関連費用増を乗り越え
連続営業増益へ

(単位：百万円)



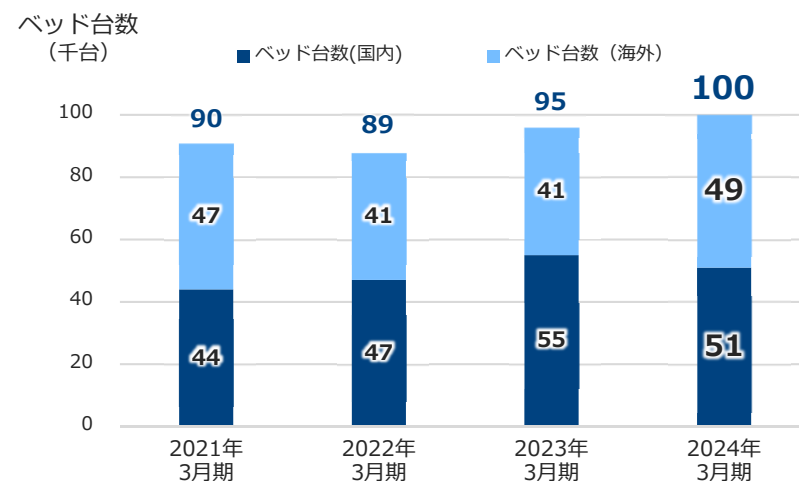
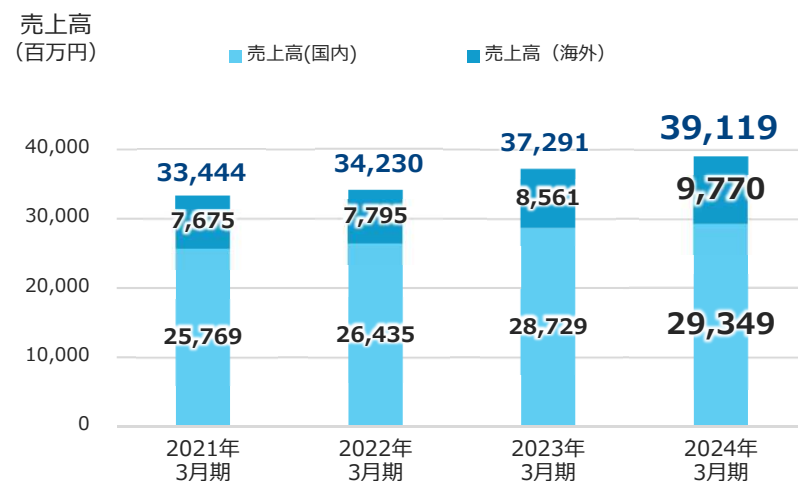
3-3. 医療事業見通し

リカーリングを拡大

リカーリングビジネスやスマートベッドシステム等を拡大。
海外は大型市場を中心に伸ばす。

	(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	前期比
					見通し	
売上高		33,444	34,230	37,291	39,119	+5%
国内		25,769	26,435	28,729	29,349	+2%
海外		7,675	7,795	8,561	9,770	+14%

	(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	前期比
					見通し	
ベッド販売台数		90	89	95	100	+5%
国内		44	47	55	51	-6%
海外		47	41	41	49	+21%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。

3-4. 介護事業見通し

ラインアップ強化 で確実な増収へ

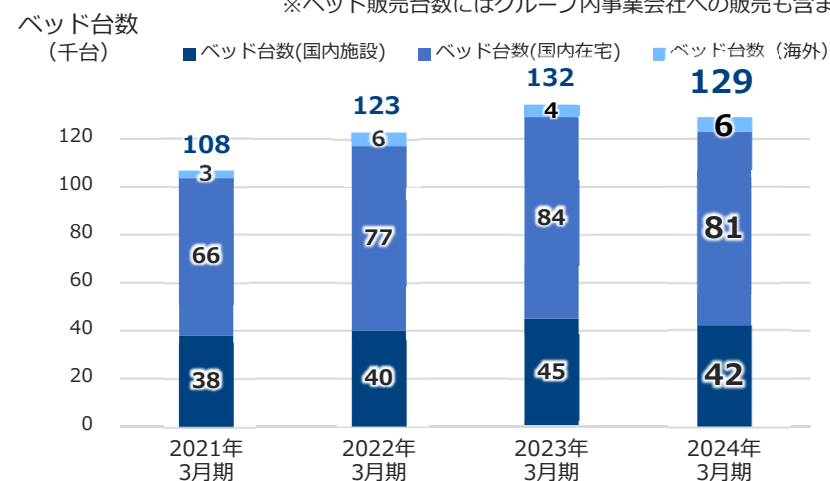
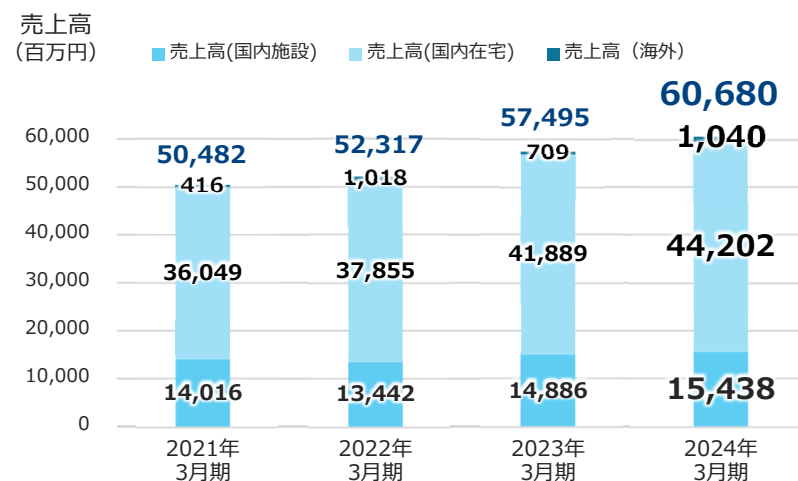
レンタル卸もオリジナル
品を投入。

施設向けは新システム
「眠りCONNECT」及び
「眠りSCAN」の市場
浸透に注力。

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	前期比
				見通し	
売上高	50,482	52,317	57,521	60,669	+6%
国内介護施設	14,016	13,442	14,912	15,438	+4%
国内在宅介護	36,049	37,855	41,899	44,202	+6%
海外	416	1,018	709	1,029	+45%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	108	123	132	129	-3%
国内介護施設	38	40	45	42	-7%
国内在宅介護	66	77	84	81	-3%
海外	3	6	4	6	+69%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

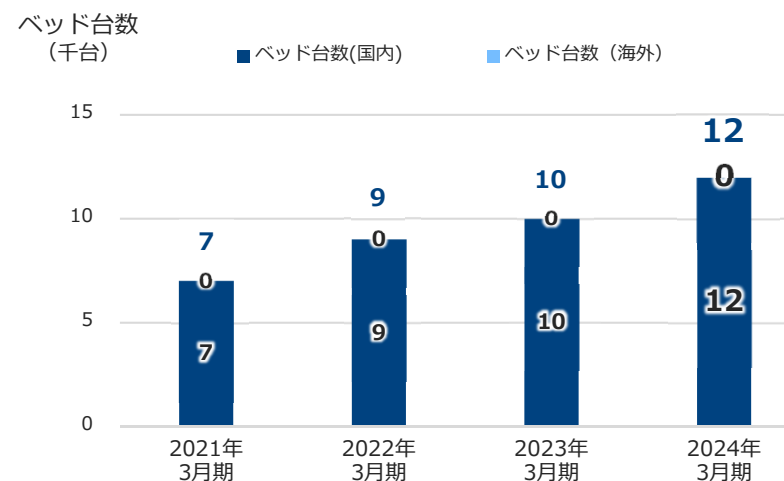
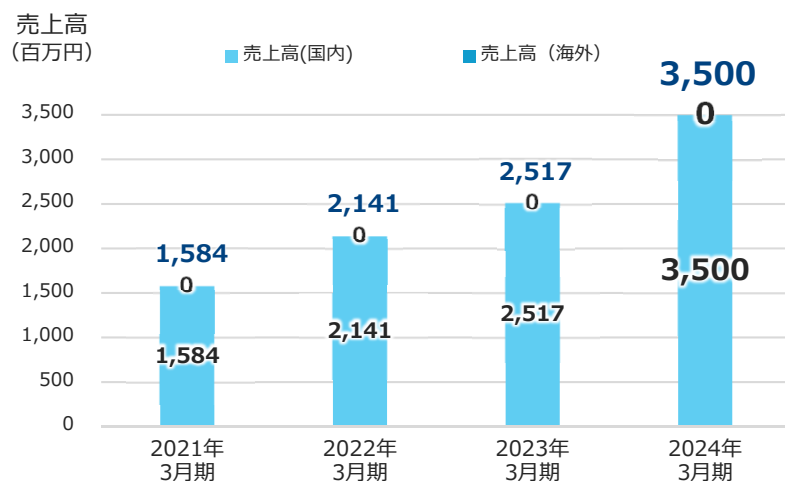
3-5. 健康事業見通し

新CM放映開始

ブランド戦略をリニューアルし、各種PR活動や販売店支援策を強化。新「INTIME1000」等の拡販に努める。

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	前期比
				見通し	
売上高	1,584	2,141	2,517	3,500	+39%
国内	1,584	2,141	2,517	3,500	+39%
海外	0	0	0	0	0%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	7	9	10	12	+26%
国内	7	9	10	12	+26%
海外	0	0	0	0	0%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

3-6. 事業別一覧

国内リカーリング売上高は前期比 7 % 増の340億円に拡大

売上高

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	実績	見通し	前期比
医療事業	37,291	39,119	+4.9%
介護事業	57,495	60,669	+5.5%
健康事業	2,517	3,500	+39.0%
その他	1,678	1,710	+1.9%
合計	99,009	105,000	+6.1%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	実績	見通し	前期比
	95	100	+5%
	132	129	-3%
	10	12	+26%
	-	-	-
	237	241	+2%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

※参考情報（国内リカーリング売上高）

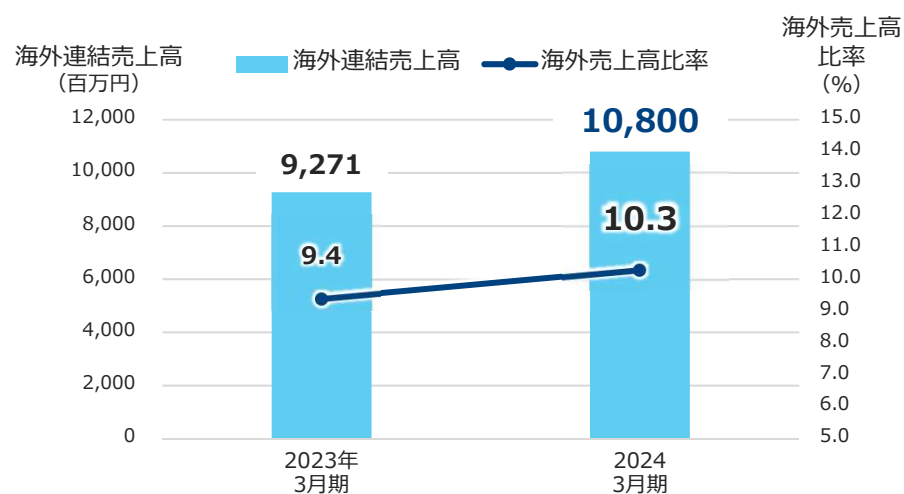
(億円未満切り捨て)

医療事業	60億円	66億円	+9%
介護事業	256億円	274億円	+7%
合計	316億円	340億円	+7%

3-7. 海外地域別売上高

大型市場の拡大に注力

(単位：百万円)	2023.3	2024.3 見通し	前期比
海外連結売上高	9,271	10,800	+16.5%
海外売上高比率	9.4%	10.3%	-



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2023.3	2024.3 見通し	前期比
アジア	8,174	9,897	+21.1%
インドネシア	2,874	3,657	+27.2%
中国	3,029	3,524	+16.3%
その他アジア	2,269	2,715	+19.7%
中東	222	235	+5.9%
中南米	505	526	+4.0%
その他	369	140	-62.0%

3-8. 設備投資等

設備投資は新基幹業務システム関連投資が増加

その他、インドネシア工場の塗装設備刷新等。

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 予算
設備投資費	2,976	1,822	3,653	3,613
減価償却費	7,540	7,898	8,482	9,671
研究開発費	1,782	1,697	1,753	1,975
従業員数	3,614	3,682	3,946	-

※参考情報

(億円未満切り捨て)

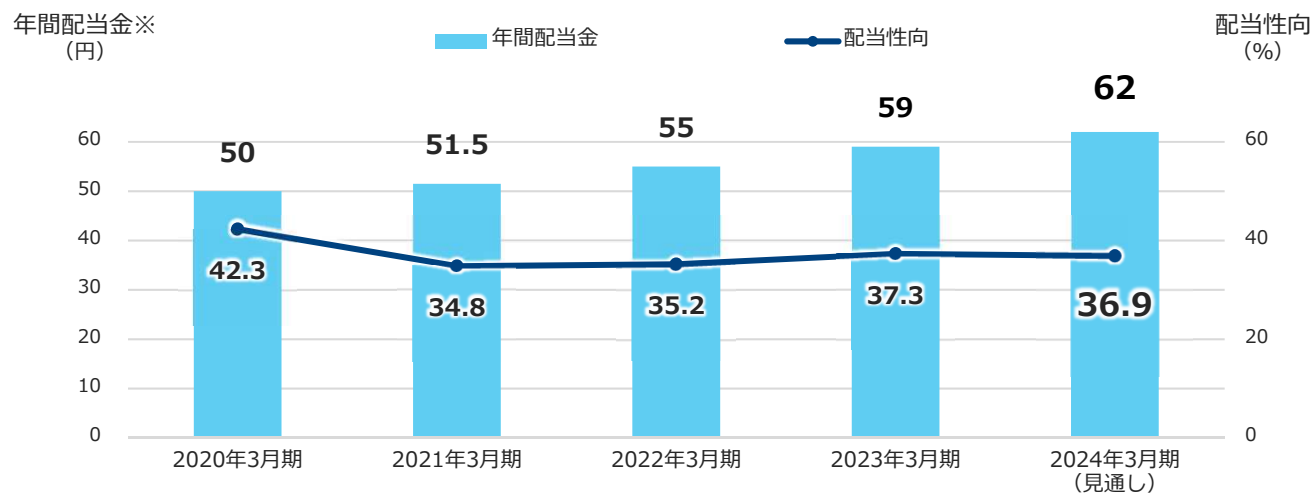
リカーリング資産 投資額	89億円	101億円	101億円	116億円
-----------------	------	-------	-------	-------

3-9. 株主還元（配当・自己株取得）

**基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に
成長を実感できる安定配当政策（見直しを含めて検討中）**

2024年3月期は年間62円を予定。4期連続の増配を見込む。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 見通し
年間配当金※	50円	51.5円	55円	59円	62円
純資産配当率（DOE）	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	-
配当性向	42.3%	34.8%	35.2%	37.3%	36.9%
自己株取得額	4,382百万円	0円	0円	0円	-



※当社は2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
上記は、2019年4月1日に当該分割が行われたと仮定した1株当たりの年間配当金を算定しています。

4. トピックス

4-1. トピックス（医療事業・国内）

スマートベッドシステムの販売を加速

医療スタッフの働き方改革推進に貢献

- ベッドサイド端末を核として、通信機能付きバイタルサイン測定器や電子カルテ、スタッフ端末、各種センサーなどのICT機器を連携させることで、入力業務や情報共有、夜間の見守り、データ活用などに貢献。
- 累計導入病院数：32病院（2023年3月末現在）⇒ 今期あらたに20件程度導入へ

ベッドサイド端末



眠りSCAN(体動センサー)



スタッフステーション端末



大型画面で患者の状態を確認できる。



通信機能付
バイタルサイン測定機器



4-2. トピックス（医療事業・海外）

中国・インド・インドネシアを注力エリアに

各国の状況（当社推計）

〔インドネシア〕

人口：約2.7億人 病院ベッド数：約33万床

年間市場規模：約2.3万台（電動比率約30%） 当社電動ベッドシェア約70%



〔中国〕

人口：約14億人 病院ベッド数：約700万床

年間市場規模：約37万台（電動比率約9%） 当社電動ベッドシェア約16%



〔インド〕

人口：約14億人 病院ベッド数：約124万床

年間市場規模：約13万台（電動比率約20%） 当社電動ベッドシェア約20%



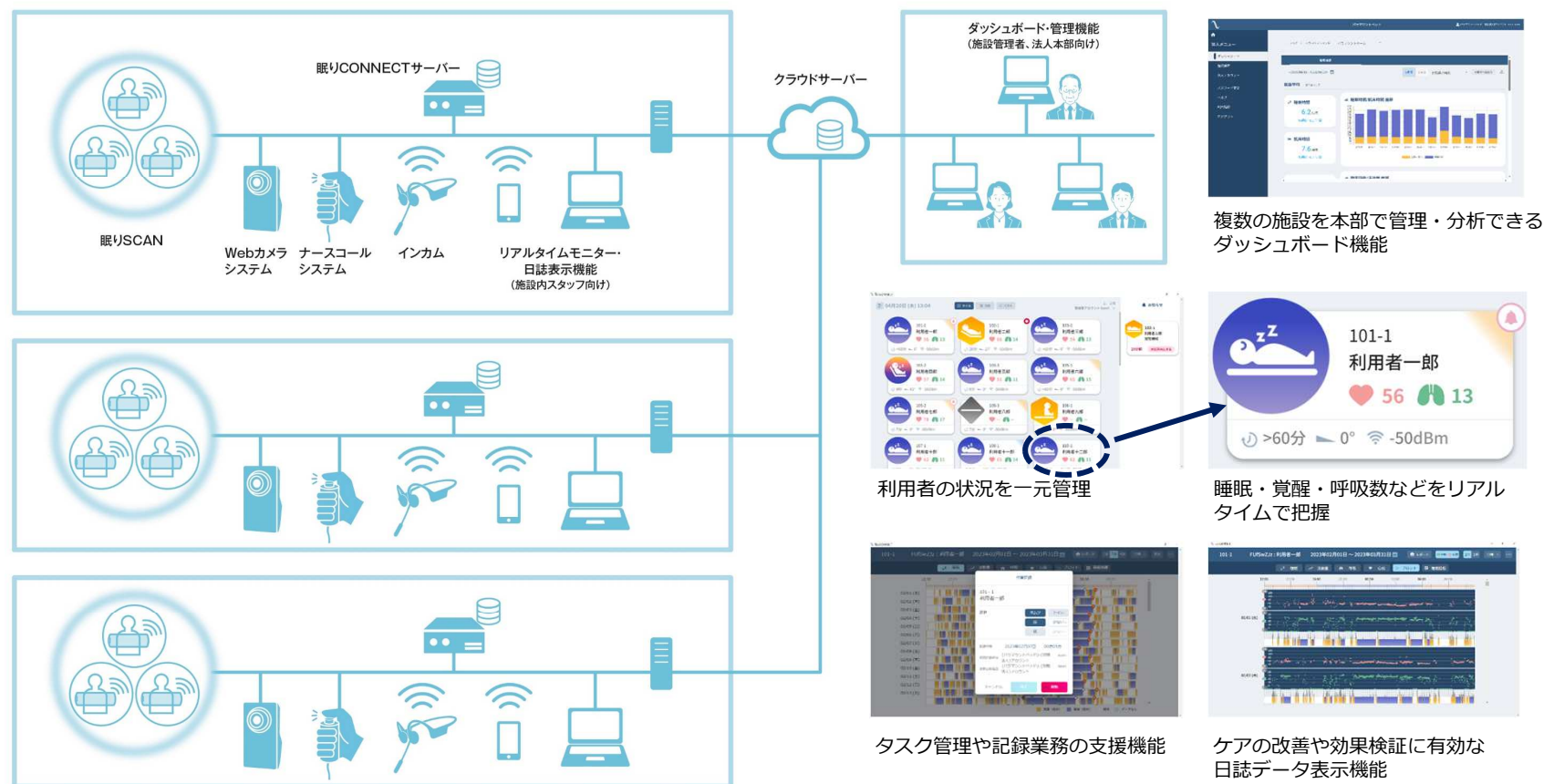
- インドで新工場建設をスタート
2024年竣工・稼働を予定
生産能力倍増へ



新インド工場の完成予想図

4-3. トピックス（介護事業・施設向け）

クラウド型の見守り支援システム「眠りCONNECT」



実績16万台以上の「眠りSCAN」と
新システム「眠りCONNECT」で
介護DX推進へ貢献

4-4. トピックス（健康事業）

ブランド戦略の再構築を推進 電動ベッドの認識変化とマーケット拡大を目指す

INTIMEブランドのテレビCMをリニューアル

- 新コンセプト「人生にチカラをくれる電動ベッド」
- CMソングに大瀧詠一さん「君は天然色」を採用
- 10月に放映スタート



「INTIME1000」を4月にモデルチェンジ



新「INTIME1000」の使用イメージ

- 優れたデザイン性を持ち必要時には介護用に“変身”する一般家庭向け電動ベッド。
- 従来の電動ベッドで要望が多かった機能や構造を取り入れ利便性を向上。
- ラインアップは幅・機能・デザイン違いなど合計144通り。
- 2023年4月発売。
- 本体価格158,000円（非課税）から。

5. APPENDIX

中期経営計画 (2022年5月公表)

5-1. 経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の位置づけ

企業理念

企業理念

先進の技術とやさしさで
快適なヘルスケア環境を創造します

ステートメント

as human, for human

ビジョン

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで
すべての人に笑顔を

中期経営計画

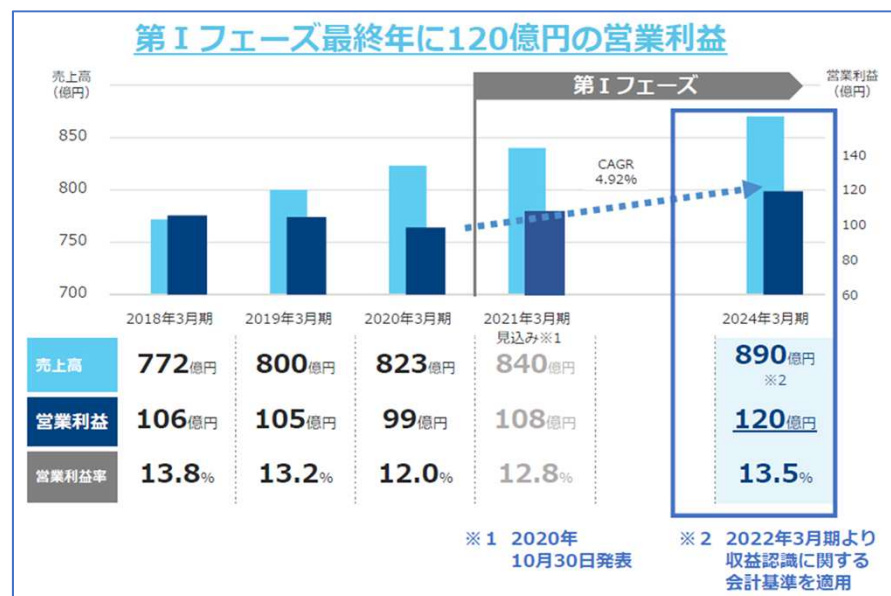
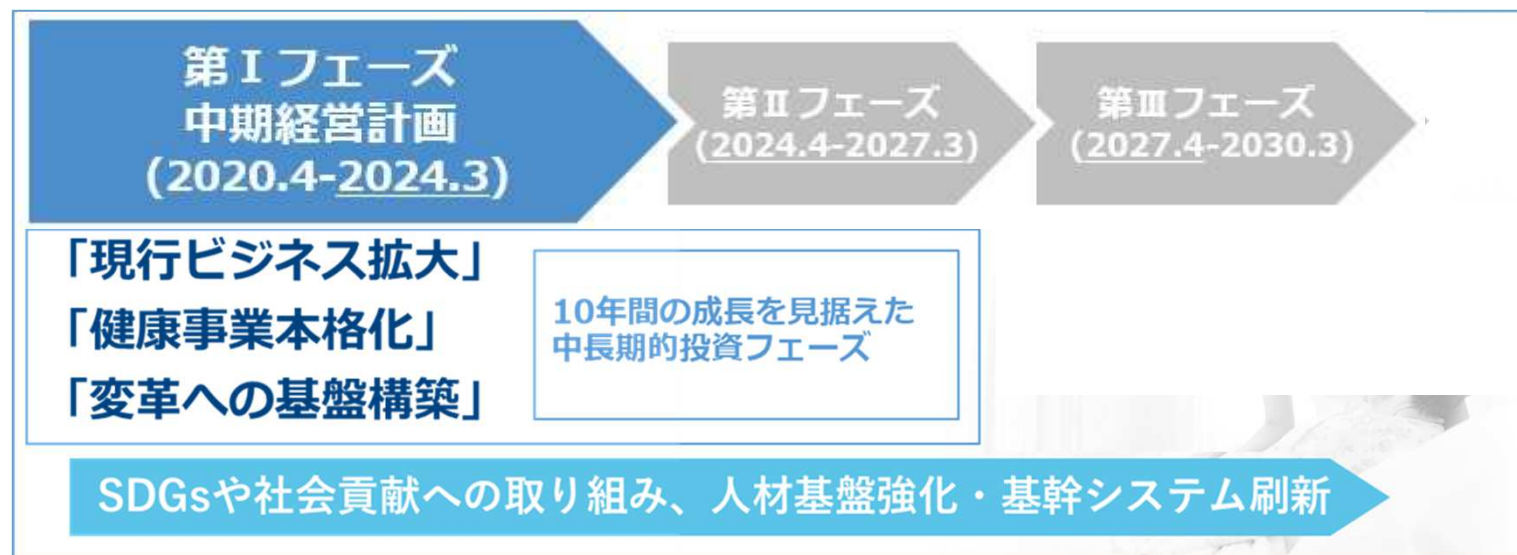
第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)



5-2. 第Ⅰフェーズの状況



2021年4月発表資料

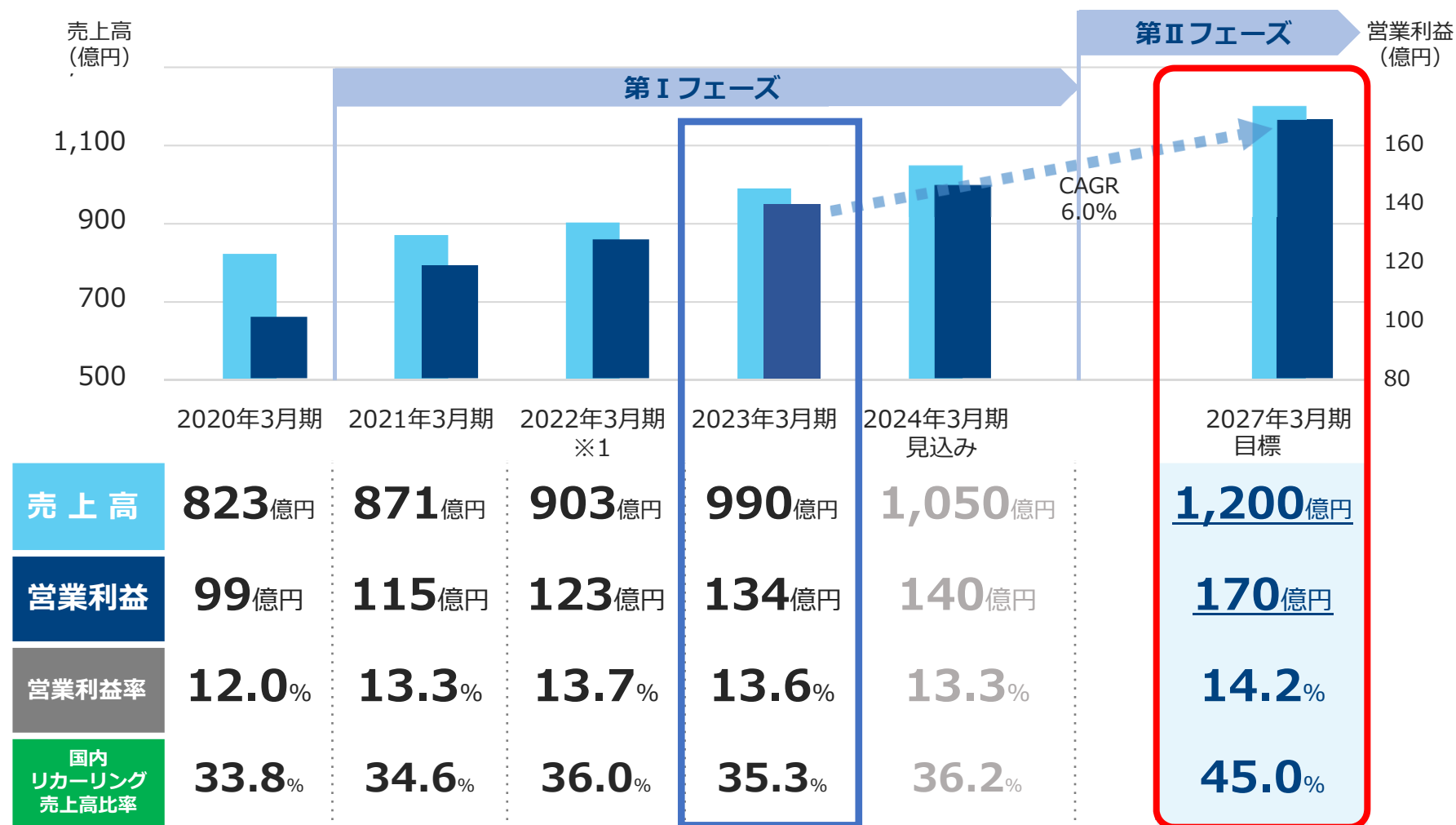
【現況】

・第Ⅰフェーズの業績目標
**2024年3月期 営業利益120億 売上890億円を
2022年3月期に超過**

第Ⅰフェーズの重点施策を確実に実行するとともに
第Ⅱフェーズの方向性を見据えた活動を

5-3. 第Ⅱフェーズ（2025年3月期～2027年3月期）の業績目標

第Ⅱフェーズ最終年に売上高1,200億円・営業利益170億円



※1 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用

5-4. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

2024.3

2027.3

2030.3

第Ⅰフェーズ重点施策

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革へ基盤構築」

第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

「健康事業の進化」

「アジア注力エリアでの飛躍」

上記実現のため「他社連携による事業拡大・創造」を



お客様のパートナーとして「なくてはならない存在」へ

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

5-5. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

- 現在のリカーリングビジネス拡大を加速
福祉用具レンタル卸事業（介護事業）
病院向け常駐サービス（医療事業）
病院向けパッケージレンタル（医療事業）
- センシング技術・AI・IoTなどを活用した
新たなリカーリングビジネスメニューを開発



国内における
リカーリング売上高比率
45%へ拡大

「健康事業の進化」

- 睡眠改善製品の拡充
- 健康寿命延伸に資する製品・サービス
- 他社とも連携し利用者を拡大



健康事業売上高
50億円超へ拡大

「アジア注力エリアでの飛躍」

- 拠点国における医療ベッドシェアNo.1
- 販売台数増加を支える生産拠点整備
- 年平均売上高成長率10%を目指す



海外売上高
150億円へ拡大

各注力ポイントとも他社連携やCVCを活用して拡大スピードを加速

5-6. 第Ⅱフェーズの業績目標（事業別）

事業別売上高

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2027年3月期 目標	2023年3月期 実績比
医療事業	37,291	49,600	+33%
介護事業	57,521	62,900	+9%
健康事業	2,517	5,500	+119%
その他	1,678	2,000	+19%
合 計	99,009	120,000	+21%
営業利益	13,451	17,000	+26%

5-7. 第Ⅱフェーズの業績目標（海外地域別）

連結海外売上高

（単位：百万円）

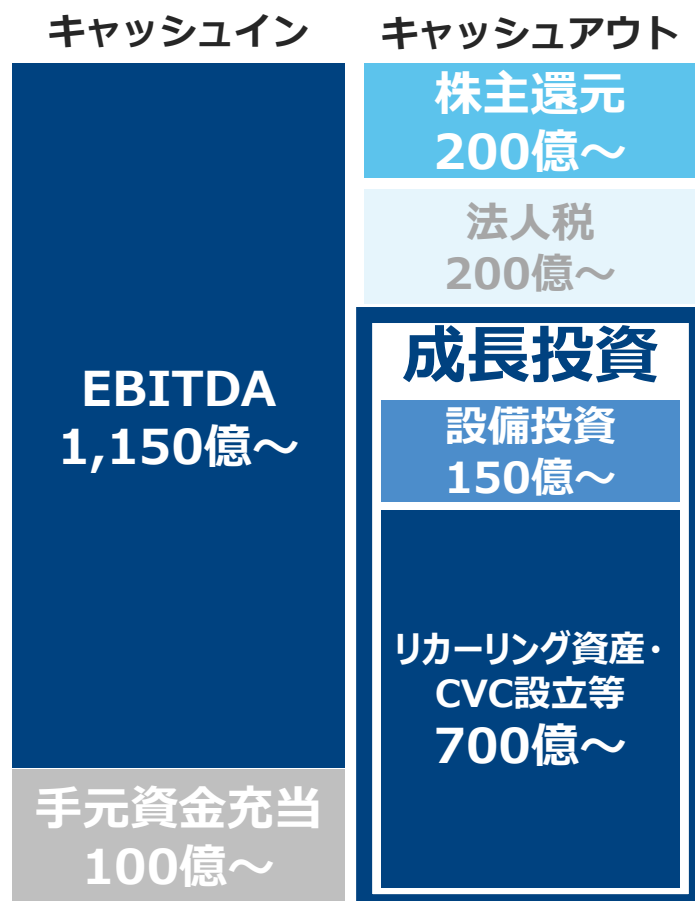
	2023年3月期 実績	2027年3月期 目標	2023年3月期 実績比
アジア	8,174	13,500	+65%
インドネシア	2,874	4,900	+70%
中国	3,029	4,600	+52%
その他アジア	2,269	4,000	+76%
アジア以外	1,096	1,500	+37%
合 計	9,271	15,000	+62%
海外売上高比率	9.4%	12.5%	-

5-8. キャッシュ配分計画

リカーリング資産投資/ベンチャー投資等に重点配分

顧客とのつながりの強化とストック型ビジネスへの転換を目指す

2022～2026年度累計



株主還元

純資産配当率(DOE)2.7%と配当性向30%を目安
市場環境等を勘案した機動的な追加還元

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／基幹システム刷新
事業発展に向けたCVC設立など他社連携を積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

＋ 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

また、本資料に記載の製品・サービス（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における％表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。